

入学式の「学校長式辞」の前編です。

4月9日(火)、体育館で「茨城県立並木中等教育学校 第12回入学式」を挙行了しました。今号と次号で、「学校長式辞」の全文を掲載します。2110字・約10分間の式辞です。私の尊敬する画家「クロード・モネ」が登場します。

4月9日の入学式の「学校長式辞」 ー前編ー タイトル：「探究・学習・夢」

式辞

- 春の暖かい日差しを受け、明るく清らかな季節となりました。本日ここに、多くのご来賓の方々並びに保護者の皆様のご臨席を賜り、並木中等教育学校第12回入学式を挙行できますことは、私どもとしまして大きな喜びであり、本校教職員を代表しまして深く感謝申し上げます。
- ただいま入学を許可しました160名の新入生の皆さん、ご入学、誠におめでとうございます。皆さんのキラキラ輝く目がとてもまぶしく感じられます。私たち教職員を始め、在校生全員が、皆さんの入学を心から歓迎いたします。また、これまでお子様の成長を温かく見守ってこられた保護者の皆様、ここに晴れて中等教育学校入学という節目を迎えられたことを心からお祝い申し上げます。
- さて、開校12年目を迎えました本校では、「Be a top learner!」を校是に掲げ、「人間教育」「科学教育」「国際理解教育」を柱とした六年一貫の教育を行い、日本の未来、さらには世界の未来の発展を担う、グローバルリーダーの育成に取り組んでおります。新入生の皆さんは、たいへん高い倍率の入学選抜を経て、見事合格の栄冠を勝ち取りました。そのような皆さんのこれからの学校生活を期待して、一人の画家の話をしたいと思います。
- その画家の名は、クロード・モネ。1840年、フランスのパリで生まれた、印象派を代表する画家です。2015年の秋、東京都美術館で開催されていた「モネ展」で、1872年に描かれた「印象・日の出」という絵を観ました。この絵のタイトルが、「印象派」という絵画グループの呼び名の由来となったのです。
- モネの作品の中に、フランスの代表的ゴシック建造物である「ルーアン大聖堂」を描いた連作が30点あります。その30点のほとんどは、同じ場所から描かれていますが、1枚として同じ色彩の絵がありません。それは、モネが、季節や時刻や天候の推移による反射光の変化をとらえて描いたからです。皆さんも、夕方、西日を受けた白い建物がオレンジ色に輝くと言うことは理解できると思います。
- また、50歳を過ぎたモネは、自宅の庭に大きな池をつくり、そこに水生植物を浮かべてモチーフにしました。それが、200以上に及び「睡蓮」の連作となります。皆さんも、モネの「睡蓮」を見たことがある人は多いと思います。モネは、水面に浮かぶ睡蓮、水面に映る空や木などとともに、反射する光そのものも描きました。モネは、10代の頃から86歳で亡くなるまで、画風やモチーフを変化させながら、絵画を探究し続けた画家だったので、<次号につづく>



クロード・モネ「印象・日の出」(1872)
フランス・パリのオルセー美術館蔵

